

ブルネイ・ダルエスサラーム国(Brunei Darussalam) 概況

ジェトロ海外調査部(2022年6月22日作成)

一般的事項	<p>(4) 1984年1月1日、英国から完全独立。</p> <p>(5) 「マレー主義、イスラム国教、王制擁護」を国是とし、2014年5月からシャリア刑法(*)を段階的に施行し、2019年4月3日から完全施行された。</p> <p>*外国人や非イスラム教徒にも適用。次の行為を禁止し、違反行為には罰金・懲役等が科せられる場合がある。</p> <p>1. ラマダンの断食時間帯に、公共の場での飲食・喫煙。</p> <p>2. 公共の場(飲食店含む)での飲酒、イスラム教徒へのアルコール飲料の販売・贈呈等(ただし、非イスラム教徒は家庭内・ホテル客室内での飲酒は可能)。</p> <p>3. 夫婦・家族以外の男女が閉鎖された空間で過ごすこと。非イスラム教徒が異性のイスラム教徒とこれを行うこと。</p> <p>4. 配偶者以外の異性との性行為。非イスラム教徒がイスラム教徒とこれを行うこと。</p> <p>5. 同性との性行為。違反者が男性の場合、イスラム教徒か否かを問わず、上記4.と同じ刑罰適用。女性で非イスラム教徒の場合も刑罰あり。</p> <p>6. 品位にもとる行為(例えば、女性の服装の肌の露出)。</p> <p>出所: 在ブルネイ日本国大使館ウェブサイト</p>	二国間関係																																																																																																																																																
<p>面積: 5,765平方キロメートル(三重県とほぼ同じ)</p> <p>人口: 42万9,999人(2021年推計値)</p> <p>出所: ブルネイ財務経済省経済計画統計局</p> <p>首都: バンダルスリブガワン</p> <p>民族: マレー系66%、中華系10%、その他24%(2020年)</p> <p>言語: マレー語(公用語)。英語は広く通用し、華人の間では中国語もある程度用いられている。</p> <p>宗教: イスラム教(国教)(80.9%)、仏教(7.1%)、キリスト教(7.1%)、その他(5.0%)(2016年)</p>	<p>日本の貿易額: 輸出 輸入 出所: GTA</p> <table border="1"> <tr> <td>2019年</td> <td>1億3,200万ドル</td> <td>24億2,500万ドル</td> </tr> <tr> <td>2020年</td> <td>1億300万ドル</td> <td>16億9,100万ドル</td> </tr> <tr> <td>2021年</td> <td>2億2,800万ドル</td> <td>23億4,700万ドル</td> </tr> </table> <p>対ブルネイ貿易の主要品目:(2021年) 出所: GTA</p> <p>輸出: 輸送用機械(15.8%)、一般機械(10.5%)、鉄鋼製品(2.6%)</p> <p>輸入: 鉱物性燃料(98.3%)</p> <p>日本との自由貿易協定(FTA):</p> <ul style="list-style-type: none"> 日・ブルネイ経済連携協定(2008年7月31日発効) 日・ASEAN包括的経済連携協定(2009年1月1日発効) <p>要人往来:(往)</p> <table border="1"> <tr> <td>2016年8月</td> <td>義家文部科学副大臣</td> </tr> <tr> <td>2016年11月</td> <td>あかま総務副大臣</td> </tr> <tr> <td>2017年12月</td> <td>藪浦総理大臣補佐官</td> </tr> <tr> <td>2018年2月</td> <td>河野外務大臣</td> </tr> <tr> <td>2019年4月</td> <td>藪浦総理大臣補佐官</td> </tr> <tr> <td>2019年5月</td> <td>石井国土交通大臣</td> </tr> </table> <p>(来)</p> <table border="1"> <tr> <td>2018年4月</td> <td>イシャム保健相(患者安全サミット等)</td> </tr> <tr> <td>2018年10月</td> <td>マツ・スニー・エネルギー・人材・産業相(LNG産消会議等)</td> </tr> <tr> <td>2018年12月</td> <td>マツ・スニー・エネルギー・人材・産業相(LNG産消会議等)</td> </tr> <tr> <td>2019年1月</td> <td>アミン・リユー総理府大臣兼財務・経済相(第1回TPP委員会)</td> </tr> <tr> <td>2019年10月</td> <td>ハサナル・ボルキア国王(即位の礼参列)</td> </tr> <tr> <td>2019年10月</td> <td>エルワン・ペヒン・ヨセフ第二外務大臣(茂木外務大臣との会談等)</td> </tr> </table> <p>日系企業進出状況: 17社(2020年10月現在) 出所: 外務省</p> <p>在留邦人数: 165名(2020年10月現在) 出所: 外務省</p> <p>在日ブルネイ人数: 38人(2020年12月時点) 出所: 法務省</p>	2019年	1億3,200万ドル	24億2,500万ドル	2020年	1億300万ドル	16億9,100万ドル	2021年	2億2,800万ドル	23億4,700万ドル	2016年8月	義家文部科学副大臣	2016年11月	あかま総務副大臣	2017年12月	藪浦総理大臣補佐官	2018年2月	河野外務大臣	2019年4月	藪浦総理大臣補佐官	2019年5月	石井国土交通大臣	2018年4月	イシャム保健相(患者安全サミット等)	2018年10月	マツ・スニー・エネルギー・人材・産業相(LNG産消会議等)	2018年12月	マツ・スニー・エネルギー・人材・産業相(LNG産消会議等)	2019年1月	アミン・リユー総理府大臣兼財務・経済相(第1回TPP委員会)	2019年10月	ハサナル・ボルキア国王(即位の礼参列)	2019年10月	エルワン・ペヒン・ヨセフ第二外務大臣(茂木外務大臣との会談等)																																																																																																																
2019年	1億3,200万ドル	24億2,500万ドル																																																																																																																																																
2020年	1億300万ドル	16億9,100万ドル																																																																																																																																																
2021年	2億2,800万ドル	23億4,700万ドル																																																																																																																																																
2016年8月	義家文部科学副大臣																																																																																																																																																	
2016年11月	あかま総務副大臣																																																																																																																																																	
2017年12月	藪浦総理大臣補佐官																																																																																																																																																	
2018年2月	河野外務大臣																																																																																																																																																	
2019年4月	藪浦総理大臣補佐官																																																																																																																																																	
2019年5月	石井国土交通大臣																																																																																																																																																	
2018年4月	イシャム保健相(患者安全サミット等)																																																																																																																																																	
2018年10月	マツ・スニー・エネルギー・人材・産業相(LNG産消会議等)																																																																																																																																																	
2018年12月	マツ・スニー・エネルギー・人材・産業相(LNG産消会議等)																																																																																																																																																	
2019年1月	アミン・リユー総理府大臣兼財務・経済相(第1回TPP委員会)																																																																																																																																																	
2019年10月	ハサナル・ボルキア国王(即位の礼参列)																																																																																																																																																	
2019年10月	エルワン・ペヒン・ヨセフ第二外務大臣(茂木外務大臣との会談等)																																																																																																																																																	
基礎的経済指標	<p>主要産業: 石油・天然ガス</p> <p>GDP(名目): 188億ブルネイ・ドル(140億米ドル、1米ドル=1.34ブルネイ・ドル)(2021年)</p> <p>1人当たりGDP(名目): 3万6,509ブルネイ・ドル(2020年)</p> <p>経済成長率(実質): △1.6%(2021年)</p> <p>インフレ率: 1.7%(2021年)</p> <p>貿易額: 輸出148.5億ブルネイ・ドル/輸入115.2億ブルネイ・ドル(2021年)</p> <p>主要貿易品目:(2021年)</p> <p>輸出: 石油・天然ガス等(78.7%)、化学品(18.0%)</p> <p>輸入: 鉱物性燃料(66.4%)、機械・輸送用機器類(12.3%)、食料品(6.4%)、工業製品(4.8%)、雑品(3.7%)</p> <p>主要貿易相手国:(2021年12月)</p> <p>輸出: 日本(25.5%)、オーストラリア(18.0%)、中国(15.2%)、シンガポール(13.9%)、マレーシア(11.3%)、タイ(3.3%)</p> <p>輸入: ロシア(32.4%)、マレーシア(27.0%)、中国(9.1%)、米国(8.5%)、シンガポール(4.0%)、インドネシア(2.7%)</p> <p>通貨: ブルネイ・ドル(シンガポール・ドルと等価交換されている)</p> <p>為替レート: 1米ドル=1.34ブルネイ・ドル(2021年期中平均) 出所: IMF</p>	経済動向																																																																																																																																																
	<p>(1) 豊富な石油、天然ガス生産により、安定した経済、高い所得水準を維持、社会福祉も充実。2008年、2009年は世界金融危機で資源価格が大幅下落し、経済成長率はマイナスとなったが、原油価格の回復で2010年、11年はプラス成長に転じたものの、2013年以降は再度マイナス成長が続き、2017年以降はプラス成長を維持している。</p> <p>(2) エネルギー資源への過度の依存から脱却すべく、2006年に石油・天然ガスを原料にメタノールの製造工場を設立するなど、石油「川下」産業の開発を含めた経済の多様化を目指す。</p> <p>(3) BP統計によれば、原油産出量は2010年の日産17.2万バレルをピークに、一貫して減産傾向が続いている。天然ガスの産出は2017年時点で、129億立方メートルと頭打ち感もみられる。</p>	ブルネイの主要経済指標																																																																																																																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>2016年</th> <th>2017年</th> <th>2018年</th> <th>2019年</th> <th>2020年</th> <th>2021年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実質GDP成長率</td> <td>%</td> <td>△ 2.5</td> <td>1.3</td> <td>0.1</td> <td>0.4</td> <td>1.2</td> <td>△ 1.6</td> </tr> <tr> <td>名目GDP</td> <td>10億ドル</td> <td>11.4</td> <td>12.1</td> <td>13.6</td> <td>13.5</td> <td>12.0</td> <td>14.0</td> </tr> <tr> <td>1人当たりGDP(名目)</td> <td>ドル</td> <td>27,322</td> <td>28,238</td> <td>30,642</td> <td>29,404</td> <td>27,246</td> <td>n.a.</td> </tr> <tr> <td>消費者物価上昇率</td> <td>%</td> <td>△ 0.4</td> <td>△ 1.3</td> <td>1.0</td> <td>△ 0.4</td> <td>2.0</td> <td>1.7</td> </tr> <tr> <td>失業率</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>9.3</td> <td>8.7</td> <td>6.8</td> <td>7.4</td> <td>n.a.</td> </tr> <tr> <td>*経常収支</td> <td>100万ドル</td> <td>1,469.9</td> <td>1,984.4</td> <td>939.9</td> <td>893.8</td> <td>513.7</td> <td>n.a.</td> </tr> <tr> <td>*貿易収支</td> <td>100万ドル</td> <td>2,153.3</td> <td>2,402.8</td> <td>2,364.7</td> <td>2,210.5</td> <td>1,359.2</td> <td>n.a.</td> </tr> <tr> <td>輸出</td> <td>100万ドル</td> <td>4,811.7</td> <td>5,474.3</td> <td>6,470.7</td> <td>7,210.0</td> <td>6,535.2</td> <td>n.a.</td> </tr> <tr> <td>輸入</td> <td>100万ドル</td> <td>2,658.5</td> <td>3,071.5</td> <td>4,106.1</td> <td>4,999.5</td> <td>5,176.0</td> <td>n.a.</td> </tr> <tr> <td>*金融収支</td> <td>100万ドル</td> <td>6,391.7</td> <td>1,440.8</td> <td>52.2</td> <td>△ 405.2</td> <td>244.2</td> <td>n.a.</td> </tr> <tr> <td>*外貨準備高(金除く)</td> <td>100万ドル</td> <td>3,321.8</td> <td>3,299.6</td> <td>3,220.6</td> <td>4,051.9</td> <td>3,721.3</td> <td>n.a.</td> </tr> <tr> <td>*為替レート(期中平均)</td> <td>ブルネイ・ドル/米ドル</td> <td>1.38</td> <td>1.38</td> <td>1.35</td> <td>1.36</td> <td>1.38</td> <td>1.34</td> </tr> <tr> <td>**原油産出量</td> <td>1,000bbl/日</td> <td>121</td> <td>113</td> <td>112</td> <td>121</td> <td>110</td> <td>n.a.</td> </tr> <tr> <td>**石油産出量</td> <td>100万トン</td> <td>5.9</td> <td>5.5</td> <td>5.4</td> <td>5.9</td> <td>5.4</td> <td>n.a.</td> </tr> <tr> <td>**原油確認埋蔵量</td> <td>10億bbl</td> <td>1.1</td> <td>1.1</td> <td>1.1</td> <td>1.1</td> <td>1.1</td> <td>n.a.</td> </tr> <tr> <td>**天然ガス産出量</td> <td>10億m³</td> <td>12.9</td> <td>12.9</td> <td>12.6</td> <td>13.0</td> <td>12.6</td> <td>n.a.</td> </tr> <tr> <td>**天然ガス埋蔵量</td> <td>兆m³</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td>n.a.</td> </tr> </tbody> </table> <p>出所: ブルネイ財務経済省経済計画統計局、*IFS、**BP</p>		単位	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	実質GDP成長率	%	△ 2.5	1.3	0.1	0.4	1.2	△ 1.6	名目GDP	10億ドル	11.4	12.1	13.6	13.5	12.0	14.0	1人当たりGDP(名目)	ドル	27,322	28,238	30,642	29,404	27,246	n.a.	消費者物価上昇率	%	△ 0.4	△ 1.3	1.0	△ 0.4	2.0	1.7	失業率	%	-	9.3	8.7	6.8	7.4	n.a.	*経常収支	100万ドル	1,469.9	1,984.4	939.9	893.8	513.7	n.a.	*貿易収支	100万ドル	2,153.3	2,402.8	2,364.7	2,210.5	1,359.2	n.a.	輸出	100万ドル	4,811.7	5,474.3	6,470.7	7,210.0	6,535.2	n.a.	輸入	100万ドル	2,658.5	3,071.5	4,106.1	4,999.5	5,176.0	n.a.	*金融収支	100万ドル	6,391.7	1,440.8	52.2	△ 405.2	244.2	n.a.	*外貨準備高(金除く)	100万ドル	3,321.8	3,299.6	3,220.6	4,051.9	3,721.3	n.a.	*為替レート(期中平均)	ブルネイ・ドル/米ドル	1.38	1.38	1.35	1.36	1.38	1.34	**原油産出量	1,000bbl/日	121	113	112	121	110	n.a.	**石油産出量	100万トン	5.9	5.5	5.4	5.9	5.4	n.a.	**原油確認埋蔵量	10億bbl	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	n.a.	**天然ガス産出量	10億m ³	12.9	12.9	12.6	13.0	12.6	n.a.	**天然ガス埋蔵量	兆m ³	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	n.a.	外交・国防
	単位	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年																																																																																																																																											
実質GDP成長率	%	△ 2.5	1.3	0.1	0.4	1.2	△ 1.6																																																																																																																																											
名目GDP	10億ドル	11.4	12.1	13.6	13.5	12.0	14.0																																																																																																																																											
1人当たりGDP(名目)	ドル	27,322	28,238	30,642	29,404	27,246	n.a.																																																																																																																																											
消費者物価上昇率	%	△ 0.4	△ 1.3	1.0	△ 0.4	2.0	1.7																																																																																																																																											
失業率	%	-	9.3	8.7	6.8	7.4	n.a.																																																																																																																																											
*経常収支	100万ドル	1,469.9	1,984.4	939.9	893.8	513.7	n.a.																																																																																																																																											
*貿易収支	100万ドル	2,153.3	2,402.8	2,364.7	2,210.5	1,359.2	n.a.																																																																																																																																											
輸出	100万ドル	4,811.7	5,474.3	6,470.7	7,210.0	6,535.2	n.a.																																																																																																																																											
輸入	100万ドル	2,658.5	3,071.5	4,106.1	4,999.5	5,176.0	n.a.																																																																																																																																											
*金融収支	100万ドル	6,391.7	1,440.8	52.2	△ 405.2	244.2	n.a.																																																																																																																																											
*外貨準備高(金除く)	100万ドル	3,321.8	3,299.6	3,220.6	4,051.9	3,721.3	n.a.																																																																																																																																											
*為替レート(期中平均)	ブルネイ・ドル/米ドル	1.38	1.38	1.35	1.36	1.38	1.34																																																																																																																																											
**原油産出量	1,000bbl/日	121	113	112	121	110	n.a.																																																																																																																																											
**石油産出量	100万トン	5.9	5.5	5.4	5.9	5.4	n.a.																																																																																																																																											
**原油確認埋蔵量	10億bbl	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	n.a.																																																																																																																																											
**天然ガス産出量	10億m ³	12.9	12.9	12.6	13.0	12.6	n.a.																																																																																																																																											
**天然ガス埋蔵量	兆m ³	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	n.a.																																																																																																																																											
	<p>政治体制</p> <p>元首: ハサナル・ボルキア国王(第29代スルタン)</p> <p>国王は宗教上の権威であるとともに、国政全般を掌握(首相、国防相、財務相、外務貿易相を兼任)。</p> <p>議会: 一院制(立法評議会)、権限は予算審議等のみで、限定的。同議会は1984年独立直後から停止、2004年9月再開。従来は、国王がすべての議員を任命していたが、2011年3月、初めて一部議員(地方代表)の選挙を実施。</p>	政治動向																																																																																																																																																
	<p>(1) 16世紀、第5代スルタン・ボルキア統治下、サバ州、サラワク州、フィリピン南部を統治。同国の最盛期。</p> <p>(2) 1888年、英国との保護協定締結により、外交を英国が担当。1906年、内政を含め英国の保護領となる。1959年、内政の自治を回復。</p> <p>(3) 1962年、アザハリの反乱(ブルネイ人民党メンバーによるスルタン制とマレーシア連邦参加に対する反乱)。非常事態宣言を發布し、現在も継続。</p>	<p>二国間条約・取極:</p> <p>日・ブルネイ査証免除取極(1986年6月2日発効)、日・ブルネイ航空協定(1994年8月30日発効)、日・ブルネイ経済連携協定(2008年7月31日発効)、日・ブルネイ租税協定(2009年12月19日発効)</p> <p>【参考資料】</p> <p>外務省 国・地域基礎データ</p> <p>外務省 海外在留邦人調査統計</p> <p>法務省 在留外国人統計</p> <p>財務省 貿易統計</p> <p>貿易データベース Global Trade Atlas(GTA)</p> <p>IMF International Financial Statistics(IFS)</p> <p>BP Statistical Review of World Energy(2021年6月)</p>																																																																																																																																																